

バークシャー種の肥育後期(体重 70～110kg)における 飼料用米配合飼料給与が発育・肉質に及ぼす影響

【1 成果の概要】

- (1) 飼料用米配合飼料は、トウモロコシ主体の飼料と比較してリジン含量が高くなります。また、脂肪酸組成ではオレイン酸割合が高まり、リノール酸割合が低くなります(表1、図1)。
- (2) 肥育後期に飼料用米割合 30%飼料を給与した米 30%区、55%飼料を給与した米 55%区は、対照区と同等の日増体量ですが、飼料摂取量が低下し、米 55%区では対照区と比較して飼料要求率が良くなる傾向が見られます(図2)。
- (3) 枝肉背脂肪厚等の枝肉形質や筋肉内脂肪含量、ロース芯肉色、皮下脂肪内層脂肪色ともに対照区と同等な成績が得られます。
- (4) 飼料用米割合 55%飼料を給与することにより、皮下脂肪内層のオレイン酸割合は対照区と同等ですが、リノール酸割合は低くなります(図3)。

表1 試験飼料配合設計

	対照飼料	米 30%飼料	米 55%飼料
トウモロコシ	30	-	-
飼料用米	-	30	55
マイロ	25	25	-
大麦	10	10	10
キャッサバミール	10	10	10
大豆粕	9.8	9.8	9.8
菜種粕	6.6	6.6	6.6
フスマ	2.9	2.9	2.9
脱脂米ぬか	3.0	3.0	3.0
ビタミンミネラル等	2.7	2.7	2.7
TDN	74.0	74.4	74.8
CP	13.8	13.8	13.4

日本標準飼料成分表(2009)を用いて算出

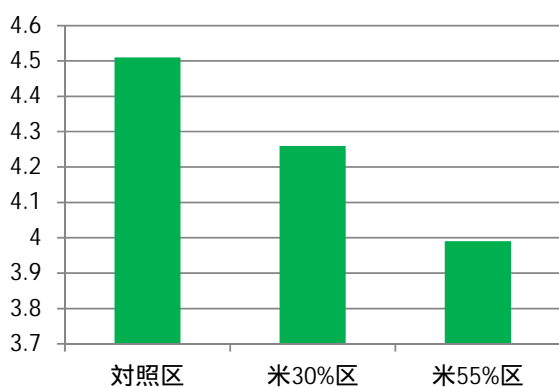


図2 飼料要求率

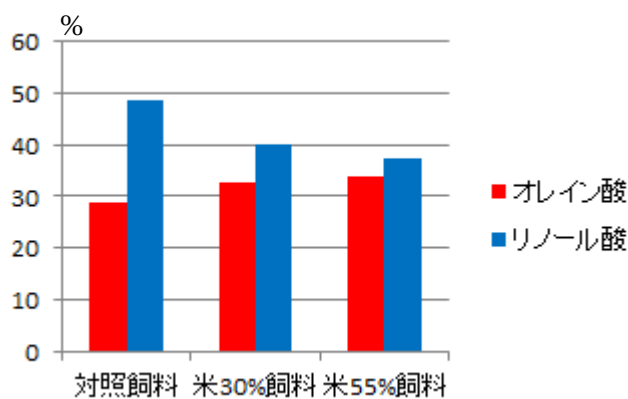


図1 試験飼料中脂肪酸組成割合

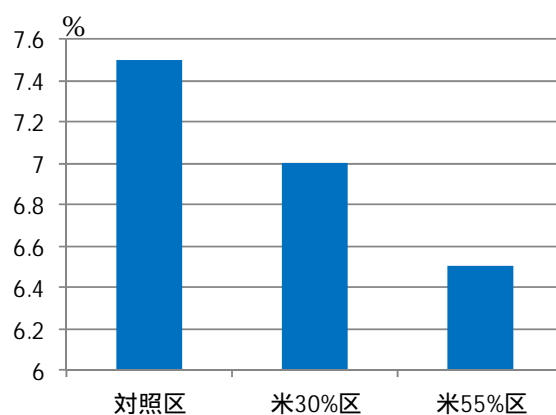


図3 皮下脂肪中リノール酸割合

【2 留意事項】

飼料用米は、岩手県農業研究センターで収穫された飼料用米専用品種「つぶゆたか」の玄米を飼料米破砕機(デリカ製 DHC-4000M)で 2.0mm 以下に破砕したものを供試しています。